※令和３年度以前入学生用

学校番号	３０１３

令和５年度　芸術（音楽）

教科	芸術（音楽）	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽Ⅱ　改訂版　Tutti（教育出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「音楽」は「音」で何かを表現するものです。「音」はいろいろなものを伝えることができる、大きなエネルギーです。授業の内容は自分の「音楽を表現する」ことと、誰かの「音楽を聴きとる」こと、さらに、誰かと一緒に「チームの音楽を表現」すること、となります。良いチームをつくることが良い表現を生みます。コミュニケーションを大切にして、これまで経験したことのないことにも積極的にチャレンジしましょう。
・学習到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。慣れないことでもまずは一緒にやってみること、授業に参加することが大切です。
・「音楽」が皆さんの生涯を通して心の支えのひとつとなることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし，音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート 演奏発表への積極的な参加	観察 ワークシート	演奏の聴取 （実技テスト）	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	歌うことを楽しみながら、発声法の基礎を学ぼう	【歌唱】 ・発声 ・布施工科高等学校校歌 ・男声四部合唱曲 →生徒の実力に合わせて、 曲目選定をおこなう。	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取 振り返りシート
1学期の演奏発表 学校行事におけるオープニング合唱・校内の先生方を招いて、授業内ミニ成果発表会								
2学期	ミュージカルに挑戦しよう	【歌唱・鑑賞】 ミュージカル作品	○	○	○	○	a:曲想と歌詞の言葉の意味や楽曲の背景との関わり、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心を持ち、意欲的に鑑賞し歌っている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらが生み出す特質を感受し、それを生かした表現を工夫している。 c:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付け、創造的に表している d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 演奏の聴取 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

	ストローク奏法で弾き語りをしよう	【器楽(三味線)】	○	○	○		a:三味線の基礎的な奏法の特徴に関心をもち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:三味線の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらを生かして表現を工夫している。 c:三味線の基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 演奏の聴取 ワークシート
文化祭での舞台発表等を予定								
3学期	バンドを組んで演奏しよう！	【鑑賞・器楽】 各チーム選択曲	○	○	○	○	a:国内外のポピュラー音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、それぞれの楽器の特徴を理解して、それらの価値を考えたりして、アンサンブルの理解を深め、その良さを創造的に味わって聴いている。 d:互いの演奏を発表に至るまでの過程やチームの工夫などに思いを巡らせながら創造的に味わって聴いている。	観察 演奏の聴取 ワークシート

※　表中の観点について　a：音楽への関心・意欲・態度　　b：音楽表現の創意工夫
　　c：音楽表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a,b,c の３観点で、「鑑賞」の分野は a,d の２観点で評価をする。

※　**生徒の実態に合わせて、曲目・発表計画は変更することがある。**

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。